

令和8年度 但馬地区難聴児担当者連絡会

5月20日(水)、本校にて、但馬地区難聴児担当者連絡会を実施しました。

但馬地区で難聴の児童生徒に関わる12名の先生方にご参加いただきました。

前半は、難聴体験を通して、『聞こえにくい』ということと難聴児の気持ちの理解、日常での支援の方法についての研修を行いました。

後半は、2つのグループに分かれて実施しました。小学校・特別支援学校小学部グループは、日々実践しておられる児童生徒への支援やその中の先生方の困り感についての情報共有を行いました。中学校・高等学校グループは、補聴援助システム等の支援機器を体験していただきました。

今年度初めて難聴児と関わる先生方からは、「難聴体験で子どもたちの聞こえにくさがよく分かった。」「子どもたちと向き合う時に聞こえにくさからくる困り感に意識を向ける必要性を感じた。」といった意見が聞かれました。また、経験がある先生も、研修を通して日々をふり振り返りながら、今後の子どもたちとの向き合い方や支援の方法について一生懸命考えておられました。先生方が日頃から真摯に子どもたちと向き合っておられる様子がたくさん伝わってくる研修会となりました。

ご参加いただきました先生方、本当にありがとうございました。

【難聴体験の様子】



【全体講義の様子】



【グループの様子】

